

2015年度計画

下記日程には一部予定を含みます。

3月	3月2日(月):2015年度事業計画説明会開催(企業・団体向け) 大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の事業計画説明
4月	上旬:受入依頼状等を企業・団体に発送 インターンシップ研修生受入の可否及び インターンシップ受入プログラム合同説明会参加の有無について照会
5月	5月7日(木):受入可否・合同説明会参加可否回答締切 上記送付書類(アンケート等)の回答締め切り
6月	6月6日(土):合同説明会開催(9:00-17:00) 6月下旬:各大学から企業・団体へインターンシップ研修申込書発送
7月	7月1日(水)~13日(月):企業・団体の学生面接 学生の研修希望先での面接
8-9月	インターンシップ研修
9月	上旬:研修先企業・団体にアンケート送付
11月	下旬:拡大懇談会開催

各大学インターンシップ連絡先

2015年度事務担当校			
愛媛大学	松山大学	松山東雲女子大学 松山東雲短期大学	聖カタリナ大学
教育学生支援部 就職支援課 (担当/奥井)	教務部教務課 (担当/西村・高橋(多)・相原)	キャリア支援課 (担当/藤田)	学生部就職課 (担当/蔵前)
〒790-8577 松山市文京町3番 TEL 089.927.8923(直) FAX 089.927.9181 www.ehime-u.ac.jp/	〒790-8578 松山市文京町4-2 TEL 089.926.7137(直) FAX 089.923.8920 www.matsuyama-u.ac.jp/	〒790-8531 松山市桑原3丁目2-1 TEL 089.913.2610(直) FAX 089.931.6402 www.shinonome.ac.jp/	〒799-2496 松山市北条660 TEL 089.993.0731(直) FAX 089.993.0717 www.catherine.ac.jp/

編集・発行/大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会

制作/NPO法人えひめ中小企業支援協会

〒791-8057 松山市大可賀2-1-28 アイテムえひめ
tel.089.968.3112 fax.089.968.3107

インターンシップ・ プログラム 実施報告書

2014 Internship Program Report



2014年度

大学コンソーシアムえひめ インターンシップ部会

2014年度のインターンシップ研修実施のお礼と来年度の取り組みへの協力をお願い

大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会 2014年度部会長 徳田 剛
(聖カタリナ大学 インターンシップ担当チームリーダー)

地域の企業・団体の皆様には、日頃から大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の活動に多大なご支援を賜り、ありがとうございます。特に学生の研修受入にはご理解・ご協力を頂き、心から感謝申し上げます。本年度は、愛媛大学・松山大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学・聖カタリナ大学の5大学からインターンシップ研修へと学生を送り出し、研修生の総数は、390名となりました。受入先の企業・団体様には、これら多数の学生をご指導いただき、インターンシップ研修を無事に終えることができました。重ねてお礼申し上げます。

インターンシップ部会は当初から主に次の6つの目的を持って活動しております。すなわち、①県内企業・自治体への意向調査 ②インターンシップの統一スケジュール・ルールの作成 ③企業・自治体と学生とのマッチングの実施 ④地域内インターンシップを希望する学生の選抜・調整 ⑤企業・自治体等との定期的な懇談会の実施 ⑥インターンシップカリキュラムの開発・検討です。この間、皆様のご協力もあり、順調に取組を進めていくことができました。今後も受入先の皆様と連携大学とが、より緊密に連携をとりながら地域のキャリア教育体制の整備に取り組みたいと考えております。

学生たちのインターンシップに対する感想を見ますと、「働く」ということや「社会人」というものに対して実感を持つ貴重な機会となっているようです。また、自分自身を振り返るきっかけともなっており、これを契機に、その後の学生生活を前向きに送っていこうというような新たな意欲を、多くの学生たちが抱いたことが感じとれます。

インターンシップ部会では、来年度以降も愛媛のインターンシップをますます充実したものに成長させることができるよう、より一層の質的向上を図っていきたいと思います。今後とも、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いします。

これまでの経緯



1990年代初頭にバブル経済が崩壊して以後、「失われた10年」はこれまでの日本型システムの多くを変容させ、特にその当時、新卒学生の就職状況が悪化する中で、フリーターやニートといった若者雇用問題が大きな社会問題となっていました。

そのような中、1997年9月、当時の文部省・通商産業省・労働省の三省は合同で「インター

ンシップの推進に当たっての基本的な考え方」を発表しました。在学中に就業体験を行うというこれまでの学校教育にはない新しい取り組みが政策レベルで模索され始め、今日では多くの高等教育機関でその実践が展開されています。

愛媛県内の高等教育機関でも独自にインターンシップを教育課程に取り入れてきましたが、無差別な受入要請が地域におけるマッチング秩序を混乱させるという事態が発生しました。2003年、受入先等の要望もあり、愛媛県中小企業家同友会の協力を得て、県内4大学(愛媛大学・松山大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学)が中心となり地域における大学生のインターンシップを統一的に運営するため、「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」が設立されました。

2009年には、愛媛県内で大学コンソーシアムができ、「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」は「大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会」へと移行しました。しかし、設立当初からの目的や地域の各組織との連携関係を変えることなく、2013年度からは聖カタリナ大学も加え、5大学で発展的に事業を展開しています。

1997年

「インターンシップの推進に当たっての基本的な考え方」が発表される

2003年

「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」設立

2009年

「大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会」へと移行

2013年

聖カタリナ大学も加え愛媛県内5大学として発展的に事業を展開

愛媛大学

愛媛大学は「学生が入学から卒業・修了まで安心して充実した大学生活を送ることができる学生支援体制を築く」ことを大学憲章で謳い、また「地域にあって輝く大学」を創ることを大学の理念としています。

法人化以後は、キャリア教育を単なる就職支援の問題ではなく、人生の新しい段階(社会)へと移行する若者の成長を支える教育として捉え、教育改革を行ってきました。平成25年度からは1回生の必修科目として「社会力入門」というキャリア教育科目を開設しました。その講義を通じて、1人でも多くの学生をインターンシップへと導くことを企図しています。2003年の愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会の発足以後、インターンシップは社会へと移行する学生の成長を支える重要な教育活動となっています。その取り組みには毎年150人前後の学生を送り出し、これまで累積で1500人以上の学生にコンソーシアムえひめによるインターンシップを経験してもらいました。

また、学生がインターンシップを受ける研修先にも多様化が見られます。愛媛大学生のインターンシップ受入先の数は微増ですが毎年増加傾向にあります。これは、愛媛大学の学生が様々な受入先にインターンシップに行っていることを意味し、地域で活躍の場を広げていることの証左とも言えます。学生が地域社会により目を向けていくことにインターンシップの効果が見て取れます。

愛媛大学は現在、地域の課題に取り組み解決するための人材を育成する新しい学部「社会共創学部」の設置を目指しています。新学部では、文理融合の多彩な学科・カリキュラムが用意される予定ですが、新学部の学生のほとんどが就労体験(インターンシップ)を行うことが企画されています。新学部をはじめ地域に貢献できる人材を育成するために全学で取り組みが行われています。今後とも変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

松山大学

松山大学におけるインターンシップの取り組みは、経営学部において1995年に学生自らが研修受け入れ先と受け入れ交渉を行い、職場研修を行う方式により開始されました。また、経済学部では1998年に愛媛県中小企業家同友会と西四国観光ネットワーク「るーらるぼけっと」の会員企業を中心とした研修受け入れ先に学生を派遣し職場研修を行う方式により開始され、その後制度が統合され、2002年度からは文系学部すべてで実施される全学部共通のプログラムになりました。

さらに、これまでは「共通教育科目」の1つであったインターンシップ関係科目が、2012年度からは独立した「キャリア教育科目」として位置づけられ、大学の教育活動の中で、ますます重要なものとなっています。

本学のプログラムは、前期に事前講義として「インターンシップ活用Ⅰ」(全15回の講義)、夏季休暇期間を利用した「インターンシップ研修」(実働30時間以上、もしくは実働60時間以上の実務研修)、さらに後期に事後講義として「インターンシップ活用Ⅱ」(全15回の講義)という形で実施しております。

松山大学では、2014年度、185名の学生が「インターンシップ研修」を行いました。毎年、研修を受けた学生の代表による研修報告会を開催するとともに、各受け入れ先の研修報告を冊子にまとめ、その成果を公開しています。このような教育活動が可能となっているのも、ひとえに研修生を受け入れてくださる事業所・団体があったればこそであります。インターンシップにご協力いただきました皆さまに心より感謝申しあげますとともに、今後の変わらぬご支援をお願いいたします。

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

本学では、2003年度より女子大学および短期大学でキャリアサポートセンターを中心にインターンシップ研修を進めて参りました。現在はキャリア支援課において、インターンシップ研修や低学年からのキャリア教育、就職活動に至るまで一貫して支援を行う態勢を整えております。一昨年度から実施している【文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」】では、卒業生や愛媛県内企業等を対象とした産業界ニーズに応える“汎用的能力”についてアンケートを実施し、主体性や課題発見力の強化のため、在学生・卒業生の実態調査と合わせて一歩踏み出すための様々なプログラムに挑戦してきました。

また、大学の授業では、職業について考える「キャリア論」や「ビジネスコミュニケーション」などの科目を配置し、研修の事前教育として「マナー研修や社会を知るための講座や座談会」なども実施しております。また短期大学では、カリキュラム全体を通して職業に直結する教育を展開し、中でも現代ビジネス学科は、1年生で「プレ・ビジネスインターンシップ」や単位なしのインターンシップ、2年生では就職活動とともに「インターンシップ研修」に取り組みます。

このように様々な体験は学生にとって“気づきや振り返り”の大切な機会です。その気づきはその後の学生生活を変化させる大きな力となります。インターンシップ研修後の報告会では、すべての学生が、受入企業様の温かさや社会人としての責任の重さを実感し、自分なりの成長を報告してくれます。研修受入企業・団体の皆様には、学生の実態を見て頂き、学生に振り返りをさせることで、学生自身考え行動できるようご指導ください。また、引き続き“働くことの意味・やりがい”などについてもご指導賜り、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

聖カタリナ大学

聖カタリナ大学は、2013年度よりコンソーシアムえひめ主催のインターンシップに正式に参加させていただき、2年目の本年度は人間社会学科の3年生14名をインターン生として送り出すことができました。

本学では、就職課が行っている全学的な就職支援の企画・講座に加え、「インターンシップ」(3年次前期開講、週1回、全15回)という授業の中で本研修の事前指導を行っています。授業の内容は、担当教員によるキャリア意識の形成や職業観に関する指導の他、マナー講習および就職活動等に関する外部講師のレクチャーを受けさせるなど、インターンシップ参加に必要な知識やノウハウの習得のためのプログラムを準備しています。研修終了後には、参加学生の提出した研修報告書をもとに学内で報告会を開催し、以後の就職活動につなげていけるように事後指導も実施しております。

本年度の参加学生のようなすを見てみると、合同説明会や研修現場で他大学の学生から刺激を受けたり、職場にて働くことの厳しさや責任の重さを実感したりすることを通じて参加学生が成長していく様を見て取ることができました。この研修において、各学生が今後就職活動を行い社会に出ていくにあたっての課題や自らの方向性について考える格好の機会をいただくことができました。また、研修先の担当者からは、「もっと積極性を出してほしい」などの貴重なアドバイスをいただきました。

昨年に本学学生を受け入れて下さった事業所のみなさまには心より御礼を申し上げるとともに、2015年度のインターンシップ研修におきましても引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

2014年度 インターンシップ研修報告

今年度も県内5大学に在籍するたくさんの学生が参加し、インターンシップ研修が行われました。受け入れ企業向けの事業計画説明会を始め、年間を通じた研修事業の状況をご報告いたします。



事業計画説明会

今年度の事業を始めるにあたり、受け入れを検討している企業や団体等に向け、事業の方針やプログラムを説明しました。

合同説明会

愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学、聖カタリナ大学に在籍する600名余りの学生が参加。受け入れを表明し、説明会に参加した企業や団体のプレゼンテーションを受けた後、思い思いに個別面談ブースをまわって研修内容の説明などを受け、熱心に質問をしていました。



拡大懇談会

その年度のインターンシップ事業を総括するため、毎年この時期に開催。今年度は研修生を受け入れていただいた22企業・団体のご担当者にお集まりいただき、より活発な意見交換をするため、大学関係者も交えたワールドカフェ形式で実施。忌憚のないご意見をいただき、次年度の事業をさらに充実させるよい機会となっています。



3/7

金

4月
下旬

インターンシップ受入プログラム合同説明会への参加の有無とインターンシップ研修生受入プログラム内容に関するアンケート送付

5月
下旬

アンケート等の締め切り

6/7

土

6月
下旬

各大学から学生の研修申込書を研修希望先へ送付

7月
下旬

研修希望先での面接

8月～
9月

インターンシップ研修
(5大学合計390名が
86の企業・団体で研修を受ける)

9月
下旬

インターンシップ研修生
受入企業へのアンケート
(回収数90/配付数110)

12/3

水

参加者の声

愛媛大学

たにがみ さやか
谷上 澄

研修先 法文学部人文学科 3年
ジョブカフェ愛work

私は、社会に出て働く前に「働く」ということや仕事についての理解を深めたいと考え、インターンシップ研修への参加を決めました。

研修先では、頭で考え知識を蓄えるだけでなく、「どう行動したいか」「そこから何を学んだか」ということが求められました。研修成果を最終日にプレゼンテーションしましたが、色々な方に自分の行動や発表に対するフィードバックを行ってもらえたことで、強みや弱みに対する理解がより一層深まりました。

実際に働くということは、想像していた以上に厳しいものでした。日々の業務をこなしながら各自での課題を進めていくという「ジョブカフェ愛work」様のスタイルは、学生としての考え方のままでは全く通用せず、社会に出て働き始める前にそれに気付いて良かったです。また、この研修で、自分に合った仕事を見つけるための道筋がより明確になったと思います。

松山大学

やまもと なみ
山本 奈実

研修先 経営学部経営学科 3年
ネットヨタ南国株式会社

1年生から学内インターンシップで新入生サポートなどの活動が続けてきました。もっと自分自身を成長させたいと思い、3年生の夏に「ネットヨタ南国株式会社」で2週間のインターンシップに参加しました。

営業同行や店舗作業などの実務に加え、インターンシップの学生向けカリキュラムでは、学生同士で人間力を高めるための話し合いも行いました。人間力には様々なことが含まれますが、その1つに自主性が挙げられます。自主性は自ら動くことではありません。本当の自主性とは「自分なら何ができるか」を考えて動くことだと思います。そのためには、まず自分理解が必要です。

今回の研修は就職活動に向けて自分自身を顧みる、よいきっかけになりました。また、研修先で出会った学生や社員の方々とのつながりはとても大切なものになりました。

松山東雲女子大学

むらかみ ゆき
村上 裕紀

研修先 人文学部
心理子ども学科 2年
株式会社ベストケア

私はインターンシップ研修を通じ、働くということに対する責任の重さを学びました。そして、何の為に仕事をするかだけではなく、誰の為に仕事をするのかということも学びました。更に、仕事場では一人だけで仕事をするのではなく、常に周りの人と連携して作業を行うため、自分自身の行動や仕事に責任を持ち、周りの人とコミュニケーションをしっかりと取ることが必要です。そのため、周囲との細かい報連相が社会人にとって必要不可欠であることも学びました。また、社会人になってからも学び続ける意識や姿勢をずっと持ち続けていることが大切だと感じました。

私は社会人として働く際だけではなく毎日の生活の中で効率よく丁寧・正確に物事を行うこと、そして相手の立場に立って考え、積極的にコミュニケーションを取ることを実践しようと思っています。

松山東雲短期大学

まつだ ゆうか
松田 ゆうか

研修先 現代ビジネス学科 1年
東京第一ホテル松山

インターンシップに参加して、社会に出ること、働くことについてたくさん学びました。中学、高校の時のインターンシップとは違うインターンシップにしたいという思いで参加しましたが、今回の研修で、自分の課題が見つかり、社会人としての礼儀やマナーなども学ばせていただいて今までは確実に違うインターンシップとなりました。

社員の方々が一生懸命ひたむきに働いている姿に刺激を受け、また、「自分もしっかりしなければ」と自然と社員の方々の背中を追いかけている自分がいました。今回参加した一番の理由は、ホテルでどのような仕事をされているのかを研修を通して知りたいというものでした。しかしホテルでの仕事内容だけでなく、社会に出ることや働くことをたくさん学び、参加して良かったと心から思います。ここからがスタートだと思ってこれからの学生生活に励んでいきたいです。

聖カタリナ大学

たはら まさや
田原 聖也

研修先 人間健康福祉学部
人間社会学科 3年
伊予鉄道株式会社 松山市駅

社会にはどのような仕事があり、自分に向いているのはどのような仕事なのかを知り、インターンシップ研修を通して社会に出たときの厳しさを学ぶきっかけになればいいなと思い参加しました。

研修期間は4日間で、主に駅での業務でした。仕事内容は切符に穴を開けて印を付けたり、お客様の案内をするというものでした。慣れない作業がたくさんあって、無事4日間乗り切れるか不安でしたが、駅員の方がみな親切で分からないことを丁寧に教えてくれたので不安が和らぎ、仕事にも慣れることができました。

今回の研修で、コミュニケーション能力の向上を目標としていました。実際に社会人の方と会話することで少しではありますが上達することができ、研修に参加して良かったと思いました。

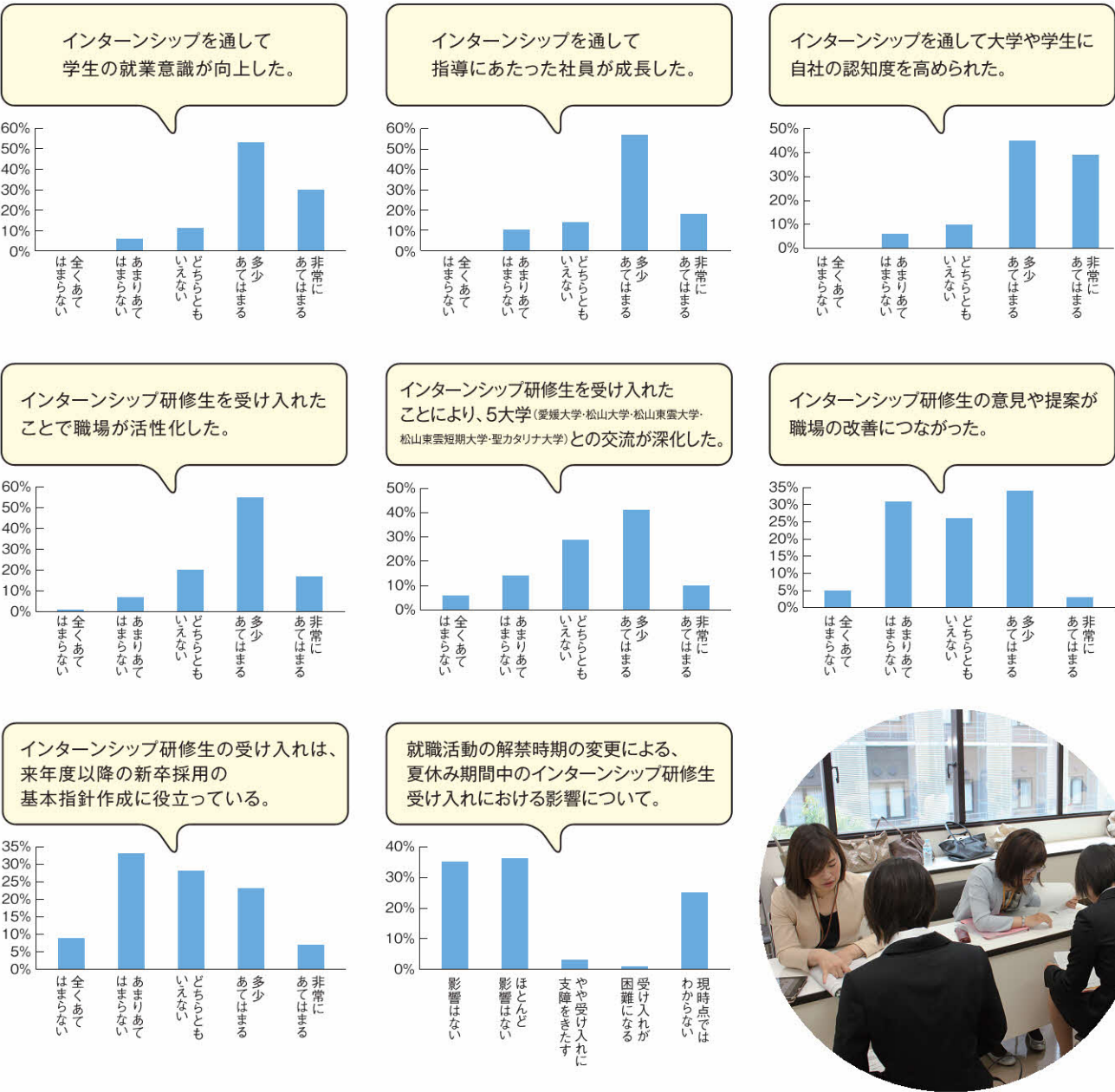


今後のインターンシッププログラムをより良くしていくため、平成26年度にインターンシッププログラムに参加して頂いた110の団体・事業所の担当者に対して平成26年9月にアンケートを行い、90件の回答を得ました。

インターンシップ研修生を受け入れて得られた効果について、8割以上の団体・事業所は、学生の就業意欲が向上、指導した社員が成長し、職場の活性化に繋がったことや自社の認知度が高まったこと等を感じていることがわかります。しかし、学生の意見や提案が職場改善に繋がった、新卒採用の基本指針作成に役立っているという点については、「あてはまる」という回答は、それぞれ37%、30%に留まっています。

企業におけるインターンシップの効果は、「企業の認知度・PR 効果」や「社内の雰囲気活性化、社員自身の成長」については実感されているのに対して、「大学等との接点が増え、連携や交流が深まること」や「ミスマッチ防止等の新卒採用に関する業務」については、まだまだメリットが十分に発揮されてなく、企業のニーズを取り入れていくことが更に必要であると思います。また、学生の基本的な社会人マナーや主体的な行動の欠如を指摘する意見もあり、研修前の教育についてもさらに検討する必要があると考えます。

就職活動解禁時期の変更に伴う、夏休み中のインターンシップ研修生受け入れにおける影響については、「影響はない」「ほとんど影響はない」という回答が71%でした。



1 株式会社アール・シー・フードバック	56 東京海上日動火災保険株式会社
2 NPO法人 Eyes	57 東京第一ホテル松山 八紘開発株式会社
3 有限会社アイン	58 社会福祉法人 道真会
4 あけはまシーサイドサンパーク株式会社	59 トヨタL&F西四国株式会社
5 アビリティセンター株式会社	60 トヨタカローラ愛媛株式会社
6 医療法人 大志会 介護老人保健施設アンビションうちこ園	61 南海放送株式会社
7 一般社団法人 いなかパイプ	62 NPO法人 にいはま市民企画ノボック
8 今治市役所	63 新居浜市役所
9 特定非営利活動法人 いよこころザン大学	64 西機電装株式会社
10 伊予市役所	65 ニンジニアネットワーク株式会社
11 株式会社伊予鉄高島屋	66 ネットトヨタ南国株式会社
12 伊予鉄道株式会社	67 NPO法人 俳句甲子園実行委員会
13 株式会社ヴァンサンカン	68 特別養護老人 ホームはかた寿園
14 株式会社ヴィンテージアイモク	69 社会福祉法人 はびねす福祉会
15 株式会社内子フレッシュパークからり	70 濱田農園
16 社会福祉法人 松山紅梅会 高齢者総合福祉施設 梅本の里	71 はるやま商事株式会社
17 宇和島市役所	72 株式会社ファースト・コラボレーション
18 宇和島ステーション開発株式会社	73 特定非営利活動法人 ぶうしすてむ
19 特定非営利活動法人 えひめグローバルネットワーク	74 株式会社フェローシステム
20 愛媛県	75 株式会社フジ
21 愛媛県立とべ動物園	76 二神塾
22 株式会社愛媛CATV	77 ベストケア株式会社
23 愛媛県司法書士会	78 星企画株式会社
24 国立大学法人 愛媛大学	79 株式会社ホテル椿館
25 えひめ中央農業協同組合	80 株式会社ホテル八千代
26 愛媛トヨタ自動車株式会社	81 公益財団法人 松山市男女共同参画推進財団
27 愛媛労働局	82 社会福祉法人 松山市社会福祉事業団 松山市久枝障害者生活介護事業所
28 株式会社エフエム愛媛	83 松山市役所
29 株式会社尾崎設計事務所	84 松山赤十字病院
30 OHANAグループ OHANA流通センター OHANA生活倶楽部	85 松山総合開発株式会社 松山全日空ホテル
31 一般財団法人休暇村協会 休暇村 瀬戸内東予	86 学校法人 松山大学
32 株式会社共立メンテナンス(森の国ホテル)	87 松山地方検察庁
33 株式会社やまびこ(霧の森)	88 松山ヤクルト販売株式会社
34 社会医療法人 石川記念会 HITO病院	89 株式会社マミーズファミリー
35 株式会社ケンホームズ	90 株式会社マルナカ
36 こうち人づくり広域連合	91 丸穂保育園
37 特定非営利活動法人 こころ塾	92 株式会社三好鉄工所
38 認定こども園小羊園	93 株式会社地域法人無茶々園
39 株式会社コモテック	94 株式会社村上水軍
40 佐伯公認会計士事務所	95 森松水産冷凍株式会社
41 西条市役所	96 八幡浜みなと みなと交流館(NPO法人港まちづくり八幡浜)
42 佐川印刷株式会社	97 株式会社米北測量設計事務所
43 四国経済産業局	98 合資会社ワークショップco.松山
44 四国中央市役所	99 NPO法人ワークライフ・コラボ
45 四国通建株式会社	100 愛媛県警察
46 株式会社ジョイ・アート	101 株式会社レスバスコーポレーション
47 学校法人 勝愛学園認定こども園 勝愛幼稚園	102 合同会社 シアターねこ
48 ジョブカフェ愛work(愛媛県若年者就職支援センター)	103 株式会社スイッチカンパニー
49 学校法人聖カタリナ学園 聖カタリナ大学	104 学校法人慶応学園 慶応幼稚園
50 生活協同組合コープえひめ	105 西 精工株式会社
51 ダイキ株式会社	106 徳武産業株式会社
52 株式会社ダイキアクシス	107 株式会社マルブン
53 株式会社大屋(ドラッグストアmac)	108 株式会社ヨシケンコーポレーション
54 株式会社田窪工業所	109 東温市役所
55 株式会社テレビ愛媛	110 ably 教育ネットワーク(株式会社ジーファイブ)